

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 令和2年4月～令和3年3月
令和3年 6月 9日発行

壊して、
生かす



株式会社 力組

目次

ページ

I 組織の概要	… 3
1) 組織概要に関する情報	
1、事業所及び代表者名	
2、創業	
3、設立	
4、資本金	
5、所在地	
6、環境管理責任者及び担当者連絡先	
7、事業の概要	
8、事業の規模	
9、用途地域	
2) 許可内容・許可一覧	… 4
1、許可の内容	
2、事業の範囲	
3) 施設等の状況	
1、処理施設	
2、積替え・保管施設	
4) 処理工程図	(別紙1)
5) 処理実績	(別紙2・3)
6) 保有車輛・保有施設	… 5
1、保有車輛	
2、保有施設	
3、保管施設	
II 対象範囲	… 6
1) サイト	
2) 事業活動	
3) 要員	
4) 環境経営レポートの対象範囲	
III 環境方針	… 7
IV 環境組織図	… 8
1) 組織図	
2) 役割・責任・権限	
V 環境目標	… 9
VI 環境目標の実績	… 10
VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況	… 11
VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況	… 14
1) 環境関連法規等の順守状況	
2) 違反、訴訟の有無	
IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度	
X 代表者による全体評価と見直しの結果	

I 組織の概要

◆ 1) 組織概要に関する情報 ◆

- 1、事業所及び代表者氏名 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 力
- 2、創業 昭和57年 4月 15日
- 3、設立 平成元年 3月 23日
- 4、資本金 1000万円
- 5、所在地
- ◆本社 〒455-0806 愛知県名古屋市中区明正一丁目143番地
TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
 - ◆リサイクルセンター 〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地
TEL 0567-57-0027 FAX 0567-57-0028
 - ◆積替え保管場 リサイクルセンター内
- 6、環境管理責任者及び担当者連絡先
- ◆責任者氏名 仲宗根 彩香
 - ◆担当者連絡先 TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
E-mail ayaka-n@rikigumi.co.jp
- 7、事業の概要 建設業（とび・土工工事業、解体工事業）
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

8、事業の規模

活動規模		単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
売上高		百万円	642	831	569
従業員		人	13	15	19
床 面 積	本社	m2	186.69	186.69	186.69
	リサイクルセンター	m2	1,879.99	1,879.99	1,879.99
	積替え保管場	m2	67.61	67.61	67.61
処 理 量	収集運搬量	t	3,435	3,842	5,986
	中間処理量	t	3,645	4,367	2,555
	解体工事件数	件	401	437	344

9、用途地域

- ◆本社 近隣商業地域
- ◆リサイクルセンター 工業地域

◆ 2) 許可内容・許可一覧 ◆

1、許可の内容・事業の範囲

内容	許可年月日 有効年月日	許可番号
建設業（とび・土工工事業、 解体工事業）	令和2年9月14日	愛知県知事許可(般-2) 第34704号
	令和7年9月13日	

内容		許可年月日 有効年月日	許可番号	許可内容										
				汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず		
産業廃棄物収集運搬業														
愛知県	積替え・保管を除く	平成30年5月7日	第02310047984号							● ※1	● ※1	● ※1		
	積替え・保管を含む	令和4年6月9日		● ※2		● ※1	● ※2	● ※2						
岐阜県	積替え・保管を除く	平成29年1月15日	第02100047984号	● ※3		● ※3								
		令和4年1月14日												
三重県	積替え・保管を除く	平成28年12月11日	第02400047984号	● ※3		● ※3								
		令和3年12月10日												
産業廃棄物処分業			選別	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
		平成29年7月4日	破碎					●						
		令和4年6月17日	破碎				●							
			第02320047984号											

◆ 3) 施設等の状況 ◆

処理施設 施設所在地		設置年月日	処理能力		許可内容									
					汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	
選別施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		平成14年4月25日	143.04m ³ /日			●		●	●	●	●	●	●	●
破碎施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		平成17年3月1日	4.62 t /日							●				
			3.63t/日					●						
積替え保管施設 施設所在地		面積	保管上限	高さ	処理品目									
					汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	
保管場所 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		67.61m ²	54.04m ³	1m		● ※3			● ※3	● ※3				

※1 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※2 石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 石綿含有産業廃棄物を含む

◆ 4) 処理工程図 ◆ 別紙1に示す

◆ 5) 処理実績 ◆ 別紙2・3に示す

◆ 6) 保有車輛・保有施設 ◆

1、保有車輛

車輛区分	種類	メーカー・型式・車種	容量
車輛(解体)	油圧ショベル	住友SH235X-6	0.7m ³
		コマツPC138US-8	0.45m ³
		コマツPC78US-10	0.25m ³
運搬車輛	コンテナ	日産KK-MK25A	4 t
		いすゞKK-FRR35E4S	4 t
		いすゞ2RG-FRR90S2	3.7 t
	ダンプ	UDSKG-MK38L	3.25 t
		日産PB-MK36A	3.45 t
		いすゞKL-CXZ51K4	9.2 t
キャブオーバー	日産PB-MK36A	3.75 t	
車輛(処分)	フォークリフト	トヨタ 7FD30	2,800kg
	ペイローダー	コマツWA100-5	1.3m ³
営業車輛	普通車	トヨタDAA-ZVW30/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタDAA-ZVW30/プリウス	1.79 ℓ
		サクシードDBE-NCP160V	1.49 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ

2、保有施設

リサイクルセンターは、下記設備をベルトコンベアーで組合せ連続的に処理品目を分別しています。

機械設備	種類	動力・負荷・容量
集塵機ファン	サイクロン、フード付	22kw
ベルトコンベヤ 6基	ベルトフィーダー B1	900W×4.5メートル
	ベルトコンベヤ B4	750W×20.3m
	ベルトコンベヤ B2	600W×17.2m
	ポータブルベルトコンベヤ B5	450W×5メートル
	ベルトコンベヤ B3	600W×8.5m
	ポータブルベルトコンベヤ B6	500W×5m
破碎機	6P低圧全閉外扇型	22KW
フルイ機	一次振動フルイ機	5 f t × 14 f t -2段
	二次振動フルイ機	4 f t × 12 f t -1段
磁選機	モーター2個	2.6kw、2.2kw

Ⅲ 環境方針

基本理念

株式会社力組は、解体業と産業廃棄物処理業に両軸をおいて事業展開しています。『壊して、生かす。』をモットーに事業活動の中で解体現場から最終処分までの責任を担い、産業廃棄物リサイクル向上を目指して、循環型社会構築への取組を積極的かつ継続的に改善していきます。

基本方針

1 環境法規等の遵守

事業活動にあたって、法規制・条例及びその他の要求事項を遵守します。

2 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量削減、またエコドライブを徹底して二酸化炭素（CO₂）の排出量を削減します。

3 廃棄物リサイクル率の向上

廃棄物の最終処分量を減らし、リサイクル率の向上に取り組みます。

4 解体工事現場における負荷低減

現場での分別解体を徹底します。

現場周辺への騒音、振動、ほこり、交通の妨害等起こさない様努力します。

5 水使用量の削減

節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。

6 グリーン購入

事業活動を通じ、グリーン購入を推進します。

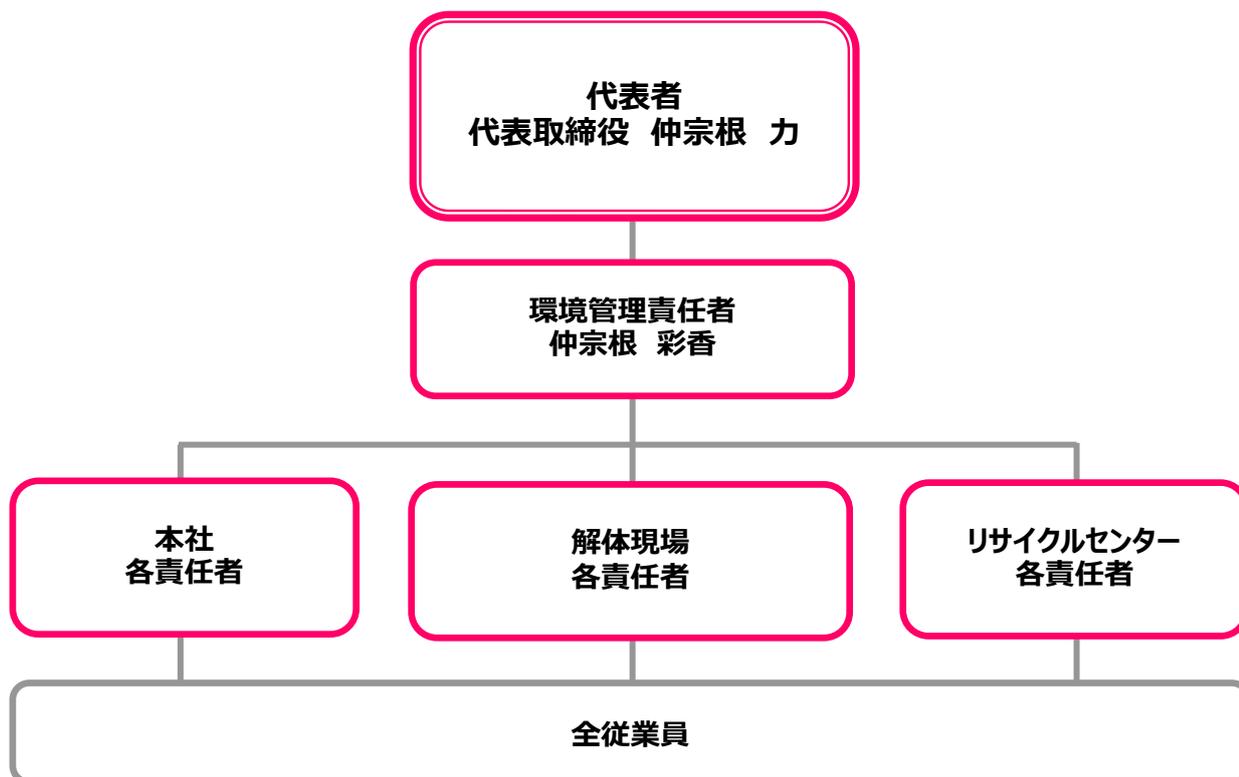
制定 平成22年9月1日

改定 平成23年6月15日

株式会社 力 組
代表取締役 仲宗根 力

IV 環境組織図

◆ 1) 組織図 ◆



◆ 2) 役割・責任・権限 ◆

役職	役割・責任・権限
代表者	1、環境方針作成・環境管理責任者任命 2、取組に対する資源を準備 3、取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	1、環境管理システム総責任者 2、環境目標・環境活動計画の作成 3、文書の作成・システム運用の事務管理 4、環境管理活動計画の実績集計 5、環境活動レポートの作成 6、教育実施・状況・結果確認 7、環境活動レポートの確認
各サイト責任者	環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	自主的・積極的に環境活動へ参画 <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ、空調管理、節電の徹底 ・分別解体、廃棄物選別 ・節水

V 環境目標

環境目標・取組みの基本方針

事業活動が環境にどのような影響を与えているのかを考え、化石燃料、電力使用による

二酸化炭素排出量の削減、及び水使用量の削減、また、廃棄物リサイクル率(以後、RC率とします)の向上、グリーン購入などを重点に取組みます。

			単位【原単位】	基準数値 H31.4-R2.3	【第10期】目標A R2.4-R3.3	【第11期】目標 R3.4-R4.3	【第12期】目標 R4.4-R5.4	【第13期】目標 R5.4-R6.5	前年比 (%)	
二酸化炭素排出量の削減	電力	産廃部門	kWh/廃棄物処分量 t	8.92	8.92	8.74	8.65	8.56	1	
			kg-CO2/廃棄物処分量 t	4.21	4.21	4.13	4.08	4.04		
		本社	kWh	5166	5114	5063	5011	4959	1	
			kg-CO2	2438	2414	2390	2365	2341		
	燃料	産廃部門	産廃重機	ℓ/廃棄物処分量 t	4.29	4.29	4.25	4.23	4.20	0.5
				kg-CO2/廃棄物処分量 t	10.9	10.90	10.79	10.74	10.68	
			産廃車両	ℓ/廃棄物運搬量 t	4.03	4.03	3.99	3.97	3.95	
				kg-CO2/廃棄物処理量 t	10.58	10.58	10.47	10.42	10.37	
		解体工事部門	解体重機	ℓ/廃棄物現場排出量 t	11.57	11.57	11.57	11.57	11.57	---
				kg-CO2/廃棄物現場排出量	12.74	12.74	12.74	12.74	12.74	
			営業車両	ℓ	4663	把握	13225	13091	12958	---
				kg-CO2	10818	把握	把握	把握	把握	
廃棄物上RC率	産廃	産廃部門	再資源化量 t/廃棄物処分量 t ×100	87.38	87.38	87.38	87.38	87.38	---	
		解体工事部門	再資源化量 t/廃棄物現場排出量 t ×100	79.8	79.80	80.60	81.00	81.40	0.5	
	一廃	本社	再資源化量 t/廃棄物社内排出量 t ×100	29.45	29.45	29.7	29.9	30.0	0.5	
水使用量削減	水使用量	産廃部門	m ³ /廃棄物処分量 t	0.0520	0.0520	0.0512	0.0510	0.0507	0.5	
		解体工事部門	m ³ /廃棄物現場排出量 t	0.1355	0.1355	0.1355	0.1355	0.1355	---	
		本社	m ³	56	55.4	54.9	54.3	53.8	1	
グリーン購入			点	12	12	12	12	12	---	
電子マネー導入	一次	1次電子マネー枚/全1次電子マネー枚 ×100	86.17	87.032	87.893	88.755	89.617	1		
	二次		—	準備	準備	準備	準備	---		

- ・ 電力の二酸化炭素排出係数は中部電力(株)の平成28年度、0.480を使用しています。
- ・ 当社は、化学物質については使用はありません。
平成31年度の数値を基準値とし、すべての目標値を見直ししております。
- ・ 本社電力、営業車両燃料、本社排水量は原単位ではなく実数値です。
- ・ 営業車両においては台数増加の為、10期の総量を改めて把握し、それをベースに11期以降の目標を定めます。

VI 環境目標の実績

			単位【原単位】	基準数値 H31.4-R2.3	【第10期】目標A R2.4-R3.3	【第10期】実績B R2.4-R3.3	B/A	評1 ※1	目標達成・ 未達の原因等		
二酸化炭素排出量の削減	電力	産廃部門	kWh/廃棄物処分量 t	8.92	8.92	5.71	0.64	○	今年は処分量 t と比べると設備の点検や掃除等で稼働電力kwhは大きかったが、意識はできていた。まだ節電努力が必要。 交代勤務等があり消費電力自体が減った。実数値の把握に努め、節電に努めることができていた。		
			kg-CO2/廃棄物処分量 t	4.21	4.21	2.70	0.64	○			
		本社	kwh	5,166	5,114	4,263	0.83	○			
	燃料	産廃部門	産廃重機	ℓ/廃棄物処分量 t	4.29	4.29	2.65	0.62	○	エコドライブ等の実施ができていた。	
				kg-CO2/廃棄物処分量 t	10.90	10.90	6.82	0.63	○		
			産廃車両	ℓ/廃棄物運搬量 t	4.03	4.03	3.23	0.80	○		
				kg-CO2/廃棄物運搬量 t	10.58	10.58	8.34	0.79	○		
		解体工事部門	解体重機	ℓ/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	11.57	11.57	3.38	0.29	○		大規模現場でも、休憩時や重機の未使用時にエンジンオフする等の取り組みができていた
				kg-CO2/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	12.74	12.74	8.73	0.69	○		
	営業車両	ℓ	4,663	—	13,350	—	○	実数値の把握に努め、エコドライブを継続することができていた			
廃棄物上RC	産廃	産廃部門	再資源化量 t / 廃棄物処分量 t × 100	87.38	87.38	83.52	0.96	×	混合廃棄物の選別後の最終処分量の増加。選別・分別の努力不足であった		
		解体工事部門	再資源化量 t / 廃棄物現場全排出量 t × 100	79.80	79.80	99.64	1.25	○	現場での選別・分別の心がけと同時に鉄骨等の大型物件があり、再資源化率が高かったのも要因の一つ		
	一廃	本社	再資源化量 t / 廃棄物社内排出量 t × 100	29.45	29.5	27.69	0.94	×	シュレッダーくずの増加。分別の努力不足であった。		
水削減用量	水使用量	産廃部門	m ³ /廃棄物処分量 t	0.0520	0.0520	0.0481	0.93	○	節水を徹底できていた		
		解体工事部門 ※1	m ³ /廃棄物現場全排出量	0.1355	0.1355	0.1018	0.75	○	粉塵等飛散防止や現場清掃のため水使用量の増加があったが節水に努めることができた		
		本社	m ³	56	55.4	52	0.94	○	実数値の把握に努め、節水に努めることができていたがまだ努力が必要		
グリーン購入			点	12	12	14	1.17	○	優先して購入できていた		
電子マニフェスト導入	一次	1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚 × 100	86.2	87.032	89.313	1.03	○	電子マニフェスト加入業者の優先ができていた			
	二次		—					準備			

単純比較でB/Aが削減目標において1以下、向上目標では1以上なら目標達成で○印、それ以外は目標未達で×印。

※1 解体工事現場において排水量は把握のみとする

実績値	電力 kwh	軽油 (重機) ℓ	軽油 (車両) ℓ	ガソリン ℓ	収集運搬量 t	処分量 t	再資源化量 (処分) t
解体	—	28,760	—	5,754	—	—	—
産廃	14,595	6,757	19,350	988	5,986	2,555	2,134
本社	4,263	—	—	—	—	0.195	0.054

実績値	全排出量 t	全再資源化量 (排出) t	排出量 (自社施工) t	再資源化量 (自社施工) t	水使用量 m ³
解体	213,194	212,422	8,502	6,514	1,594
産廃	—	—	—	—	123
本社	—	—	—	—	52

実績値	電子マニ 枚	紙マニ 枚
解体 一次	2,574	308
産廃 二次	0	515

kg-CO2	電力	軽油 (重機)	軽油 (車両)	ガソリン	
解体	—	74,201	—	13,350	
産廃	6,889	17,433	49,922	2,293	
本社	2,012	—	—	—	
合計	8,901	91,634	49,922	15,643	総合計
					166,100
昨年度	7,982	103,950	9,481	9,481	130,894

VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

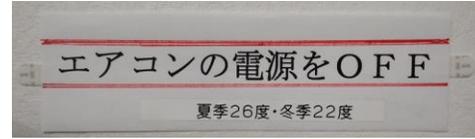
第10期・環境活動計画(令和2年4月～令和3年3月)

1.二酸化炭素の排出量の削減

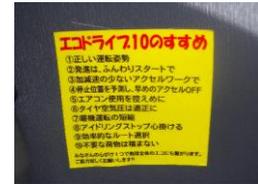
取組状況

運用期間環境目標		令和2年					令和3年						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
取組内容	毎月の電力使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	照明・冷暖房・PC時間管理												
	冷暖房温度設定(夏季26℃、冬季22℃)	○			○					○			○
	4.空調設備点検(フィルター清掃)				○								○
	5.太陽光発電使用状況点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
取組内容	機械設備稼働状況調査				○							○	
取組内容	毎月の燃料使用量の把握	○			○					○			○
	エコドライブの徹底												
	車両日報の提出徹底	○			○					○			○
取組内容	機械等の自主点検の実施												

節電管理



エコドライブ10のシールを車両に添付、ポスター社内掲示(見える化)、車両管理

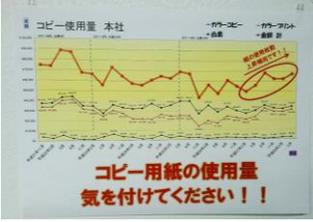
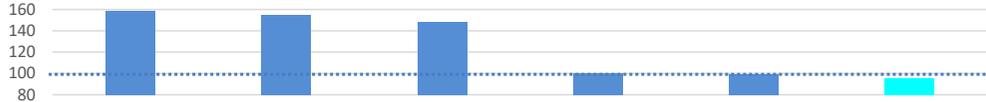


達成率 (%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	評価	次年度の取組内容
電力(産廃)	169	168	167	85	119	136	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。	継続
電力(本社)	—	—	—	—	100	117	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。	継続
燃料(産廃)	107	107	144	103	127	128	エコドライブや車両日報の提出努力がみられ、実施されている	継続
燃料(現場)	21	31	43	127	108	171	実施されているが、遠方の現場や規模の大きい現場ではさらに意識を上げる特に県外現場への対策を考える	継続
燃料(現場営業)	—	—	—	—	4663	13359	実数の把握に努める	継続

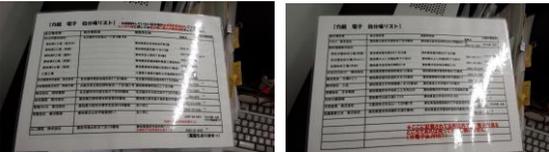
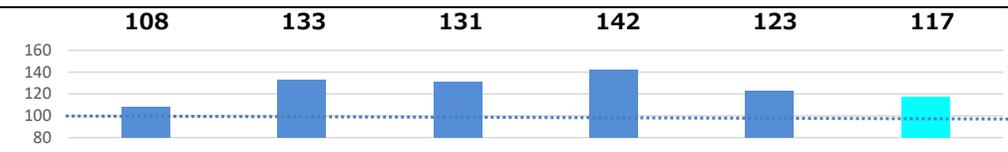
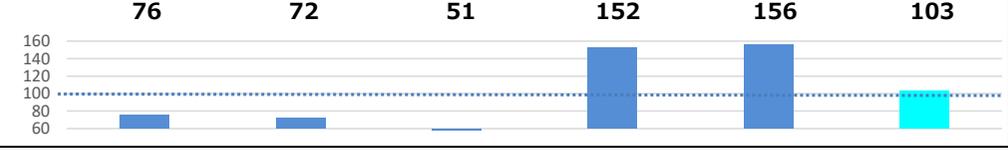
VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第10期・環境活動計画(令和2年4月～令和3年3月)

2.廃棄物リサイクル率の向上										取組状況					
運用期間環境目標		令和2年			令和3年										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	毎月の廃棄物排出量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現場では解体後の廃棄物の徹底分別、事務所で の梱包材・段ボール等紙類はリサイクル業者へ		
	廃棄物分別の徹底												裏紙用紙の使用、マニフェスト管理・保管・啓発		
	梱包材・段ボール等紙類のリサイクル														
	コピーの裏紙使用徹底	○			○			○			○				
	廃棄物の資源化率向上														
	マニフェスト管理・保管														
達成率 (%)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	評価		次年度の取組内容					
リサイクル率 (産廃)		159	155	148	100	99	96	日々の管理・廃棄物量等の把握が きちんと出来、実施されているが今後も 徹底していく		継続					
リサイクル率 (本社)		109	100	99	102	101	94	分別を徹底し実施されているが さらに努力が必要		継続					
リサイクル率 (現場)		179	169	111	94	103	125	現場での選別を徹底しており再生処分率を 高めるよう意識し、実施されているがさらに 努力が必要		継続					
3.水使用量の削減										取組状況					
運用期間環境目標		令和2年			令和3年										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	毎月の水使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現場ではホース先には原則ノズルを着用 節水の意識向上に努めた		
	節水の徹底														
	水漏れ等の点検	○			○			○			○				
達成率 (%)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	評価		次年度の取組内容					
水使用量 (産廃)		155	161	158	129	147	107	実施されている		継続					
水使用量 (現場)		73	88	28	87	112	125	解体現場では現場規模や周辺への 環境配慮のため徹底が難しいが、意識する ことを心掛ける		継続					

VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第10期・環境活動計画(令和2年4月～令和3年3月)

4.グリーン購入の推進										取組状況					
運用期間環境目標		令和2年					令和3年								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	グリーン購入量の把握													 グリーン購入法適合商品の優先購入	
	事務用品のグリーン率先購入														
5.電子マニフェスト導入										取組状況					
運用期間環境目標		令和2年					令和3年								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	電子マニフェスト取扱い会社の把握・優先													 取引先の電子マニフェスト加入業者の一覧表を配布し従業員全員で把握	
	取引先への電子マニフェスト導入を推進														
達成率 (%)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	評価		次年度の取組内容						
グリーン購入	108	133	131	142	123	117	優先して購入できており、実施されている		継続						
															
1次電子マニフェスト	76	72	51	152	156	103	電子マニフェスト取扱い会社の把握はできており取扱い会社自体年々増加しているが、現状問題となっている 下請会社への導入推進をさらに努力する		継続						
															
2次マニフェスト	準備					電子マニフェストへ移行のための資料の準備 来年度にはスタートさせたい		継続							

VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況

1) 環境関連法規等の順守状況

環境関連法規については、遵守状況を確認した結果、下記法規を遵守していることを確認しました。

「環境基本法」・「建設リサイクル法」・「廃掃法」・「家電リサイクル法」・「フロン排出抑制法」・
「振動規制法」・「騒音規制法」・「浄化槽法」・「消防法」・「オフロード法」・「大防法」・
「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」・「県民の生活環境の保全等に関する条例」

2) 違反、訴訟の有無

過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟も1件もありませんでした。

IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度

環境保全への取組み及び遵法性については、エコアクション21環境経営システムの運用を継続し、認定取得を目指します。

X 代表者による全体評価と見直しの結果

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目		確認
	1	環境目標及び目標達成状況	
2	環境活動計画及び取組実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
3	環境関連法規要求一覧及び順守状況		<input checked="" type="checkbox"/> 確認しました
4	外部コミュニケーション・対応記録		<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした
5	問題点の是正・予防措置の実施状況		<input checked="" type="checkbox"/> 是正措置2件ありました
6	その他		<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>レポート結果の報告を受け、「産業廃棄物（産廃部門・本社）リサイクル率」、 において目標未達成に終わってしまいました。</p> <p>要因としては</p> <ul style="list-style-type: none"> 「廃棄物」産廃部門においては混合廃棄物の選別後の最終処分量の増加や、ガラス陶磁器くずの最終処分量の増加があった。目標達成まであと少しだったので次回に向けて選別分別を指示。 「廃棄物」本社部門においては大型物件の資料作成に伴いシュレッダーゴミが増加していた。ミスコピー等の減少を指示するとともに、今回は目標を達成したいと思います。 <p>意識は高く持っているが大規模現場や工期のない現場等の違いがある中で各々のフィールドでの選別分別の平準化を意識しながら、会社全体で取り組んでいよう努力したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">令和3年6月1日 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 力</p>			
		見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	2	環境目標	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	3	環境活動計画	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	4	その他のシステム要素	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
5	その他（外部への対応）	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		

別紙1: 「産業廃棄物処理工程図」

2019年 6月 1日現在

No.	廃掃法上の分類	具体的な品目分類	搬入割合	中間処理業者名 (許可番号)	処理内容	中間処理	リサイクル業者名 (許可番号)	リサイクル方法 製品名	リサイクル 成形品	最終処分業者名 (許可番号)	処理内容
1	建設混合廃棄物	建設工事において発生する混合物	100	株式会社力組 愛知県:02320047984	選別	1次フルイ機→コンベア→ 2次フルイ機→集塵機	フルハシEPO(株) 愛知県:02320028236	木くず 破碎→再生 燃料チップ			
							共英産業(株) 愛知県:02320035600	がれき類 破碎→再生 路盤材			
								がれき類 壁土		クリーン開発(株) 愛知県:02330045711	管理型埋立
								がれき類 壁土		株式会社ミダックはまな遠州クリーンセンター 静岡県:06331009796	管理型埋立
							株式会社宮崎 名古屋市:06420015346	紙くず 圧縮→再生 原紙			
							株式会社エコテック 三重県:02429077314	繊維くず 破碎→再生 ワラ・堆肥			
							株式会社アピツ 名古屋市:06420110592	廃プラスチック類 破碎圧縮形成→再生 燃料・有価物			
							株式会社昭和建設 名古屋市:06420006148	がれき類 破碎→再生 路盤材			
							湖北総合開発(株) 滋賀県:02520047836	がれき類 破碎→再生 防護砂・改良土			
							株式会社オザキ 岐阜県:02121027429	がれき類 破碎→再生 路盤材			
							山田花子(山田建材) 愛知県:02320054178	がれき類 破碎→再生 路盤材			
								がれき類		株式会社札幌砕石工業 兵庫県:02834137711	安定型埋立
								ガラス陶磁器くず		株式会社札幌砕石工業 兵庫県:02834137711	安定型埋立
							株式会社オザキ 岐阜県:02121027429	ガラス陶磁器くず 破碎→再生 路盤材			
							株式会社タイヨー 愛知県:02320004980	ガラス陶磁器くず 選別	ガラス陶磁器くず	株式会社札幌砕石工業 兵庫県:02834137711	安定型埋立
						1次フルイ機→磁選機	株式会社東洋商事 愛知県:02320082878	金属くず 破碎→再生			
						1次フルイ機→コンベア→ 2次フルイ機→破碎	共英産業(株) 愛知県:02320035600	がれき類 破碎→再生 路盤材			
							株式会社昭和建設 名古屋市:06420006148	がれき類 破碎→再生 路盤材			
1	建設混合廃棄物	建設工事において発生する混合物	100	株式会社力組 愛知県:02320047984	選別	手選別	株式会社タイヨー 愛知県:02320004980	廃プラ・紙・繊維・木 がれき類・ガラスの混合物 選別	廃プラ・紙くず 繊維くず	株式会社サニックス 三重県:02423002851	破碎 燃料化
								木くず	フルハシEPO(株)愛知第二工場 愛知県:02320028236	破碎 燃料チップ	
								繊維くず	株式会社エコテック 三重県:02429077314	破碎 ワラ・堆肥	
								廃プラ・木くず 紙くず・繊維くず	エコムカワムラ(株) 岐阜県02121050046	選別・破碎 リサイクル	
								木くず 紙くず・繊維くず	クリーン開発(株) 愛知県02330045711	管理型埋立	
								木くず 紙くず・繊維くず	株式会社ヤマゼン上野処分場 三重県:02448004947	管理型埋立	
								がれき類 ガラス陶磁器くず	株式会社札幌砕石工業 兵庫県:02834137711	安定型埋立	
								木くず 紙くず・繊維くず	(公財)愛知臨海環境整備センター 愛知県:02330045239	管理型埋立	
								ガラスくず	(公財)愛知臨海環境整備センター 愛知県:02330045239	安定型埋立	

別紙1: 「産業廃棄物処理工程図」

2019年 6月 1日現在

No.	廃掃法上の分類	具体的な品目分類	搬入割合	中間処理業者名 (許可番号)	処理内容		中間処理	リサイクル業者名 (許可番号)	リサイクル方法 製品名	リサイクル 成形品	最終処分業者名 (許可番号)	処理内容
1	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	100	株式会社力組 愛知県:02320047984	選別	手選別	廃プラスチック類	株式会社タイヨー 愛知県:02320004980	圧縮	木くず	株式会社タツノ開発 愛知県:02320000496	破碎 燃料チップ
										廃プラ	光陽建設株式会社 広島県:03445005191	安定型埋立
										廃プラ	異業種エコタウン事業協同組合 大分県:04445040475	安定型埋立
										廃プラ	ジェイ・エー・ビー共同組合 広島県:07340174497	安定型埋立
							廃プラスチック類	株式会社アビツ 名古屋市:06420110592	破碎圧縮形成→再生 燃料・有価物			
1	建設混合廃棄物	廃石膏ボード	100	株式会社力組 愛知県:02320047984	選別	手選別	廃石膏ボード	株式会社タイヨー 愛知県:02320004980	選別	廃石膏ボード	株式会社グリーンアローズ中部 愛知県:02320146810	
										廃プラ・木くず 紙くず・繊維くず	株式会社富山環境整備 富山県:08540006802	管理型埋立
										紙くず・ ガラス陶磁器くず	株式会社大分グランマ 大分県:08840081663	管理型埋立
										廃石膏ボード	株式会社トクヤマ・チヨダジブサム 三重県:02422169608	管理型埋立
										木くず 紙くず・繊維くず	株式会社ヤマゼン上野処分場 三重県:02448004947	管理型埋立
										がれき類 ガラス陶磁器くず	株式会社札幌砕石工業 兵庫県:02834137711	安定型埋立
							廃石膏ボード	株式会社グリーンアローズ中部 愛知県:02320146810	破碎 石膏ボード・土壌改良材原料	土壌改良材原料	株式会社大栄工業 三重県:02428066467	再生
										石膏ボード原料	株式会社吉野石膏 愛知県:09620036181	再生
										土壌改良材原料 有価物	株式会社グリーンアローズ中部名港工場 名古屋市:06420146810	売却

別紙2：環境への負荷チェック（取りまとめ表）

		単位	R2年 産廃	R2年 現場	R2年 本	R2年 産廃+現場
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	76,537	87,551		164,087
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	5,986			5,986
	中間処理量	t	2,555			2,555
	うち再資源化等量	t	2,555			2,555
	最終処分量	t	0			0
	中間処理後の産廃の処分量	t	2,577			2,577
	うち再資源化等量	t	2,447			2,447
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	t	—	—	0.195	0.195
	産業廃棄物総排出量		2,554.59	213,193.70		215,748.29
	中間処理量	t	2,425	213,112		215,537
	うち再資源化量	t	2,149	212,422		214,571
	最終処分量	t	130	728		858
	再資源化率	%	84	99.6		99.6
総水使用量	公共用水域	m3	123	1,594	52	1,769
	下水道	m3	0	0	0	0
水使用量	上水	m3	123	1,594	52	1,769
	工業用水	m3	0	0	0	0
	地下水	m3	0	0	0	0
化学物質使用量		kg				
エネルギー使用量	購入電力	k w h	14,595	0	4,263	18,858
	建設現場等の購入電力	k w h	0	0	0	0
	太陽光設備	k w h	0	0	4,348	4,348
	ガソリン	ℓ	988	5,754	0	6,743
	軽油	ℓ	26,107	28,760	0	54,867
	その他	k w h	0	0	0	0
資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				

収集運搬量及び中間処理量はmを t 換算した数値です。
 中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。
 化学物質の使用はありません。

別紙3：受託した産業廃棄物の処理量

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬		木くず		1182.5
		コンクリート・アスファルトがら		2756.3
		その他がれき類		529.1
		ガラス・陶磁器くず		352.0
		紙くず		0.0
		金属くず		201.6
		混合廃棄物		543.2
		繊維くず		12.2
		廃石膏ボード		171.7
		廃プラスチック類		83.4
		石綿含有産業廃棄物		154.0
収集運搬量合計				5985.9
中間処理		ガラス・陶磁器くず	選別	1024.5
		がれき類	選別	1013.2
		混合廃棄物	選別	390.1
		木くず	選別	10.8
		紙くず	選別	0.0
		繊維くず	選別	21.7
		廃石膏ボード	選別	69.7
		廃プラスチック類	選別	24.5
うち再資源化等		ガラス・陶磁器くず	選別後 再資源化、最終処分	1024.5
		がれき類	選別後 路盤材化	1013.2
		混合廃棄物	選別後 燃料チップ・紙・路盤材として再資源化、最終処分	390.1
		木くず	選別後 燃料化	10.8
		紙くず	選別後 紙として再資源化	0.0
		繊維くず	選別後 ワラ堆肥化	21.7
		廃石膏ボード	選別後 石膏粉・紙として再資源化	69.7
		廃プラスチック類	選別後 燃料化、最終処分	24.5
	再資源化等量小計		2554.6	
中間処理合計				2554.6
最終処分				
最終処分量合計				0
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス・陶磁器くず	安定型最終処分場（委託）	61.5
		がれき類	安定型最終処分場（委託）	68.4
	再資源化等	木くず	委託後、燃料チップ・紙として再生利用（売却）	10.8
		がれき類	委託後、路盤材として再生利用（売却）	966.9
		廃プラスチック類	委託後、燃料として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	24.5
		紙くず	委託後、紙として再生利用（売却）	0.0
		ガラス陶磁器くず	委託後、路盤材として再生利用（売却）	963.0
		繊維くず	委託後、ワラ堆肥として再生利用（売却）	21.7
		廃石膏ボード	委託後、石膏粉・紙として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	69.7
		金属くず	委託後、金属として再生利用（売却）	8.9
混合廃棄物	委託後、チップ・セメント材・洗砂等の再生利用（売却）、未再資源化分は処理業者に委託	381.2		
	再資源化等量小計		2446.8	
中間処理後処分量合計				2576.7

※中間処理量はmをt換算した数値です。

※中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。